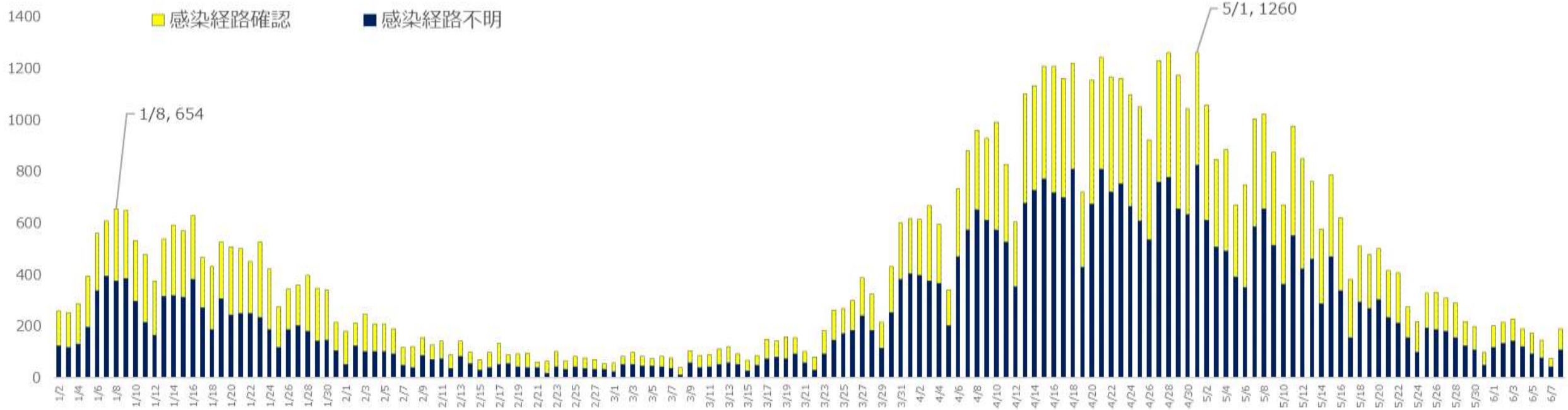


1 陽性者数等の推移

陽性者数の推移



1月9日
緊急事態宣言発出要請

1月14日～2月28日
緊急事態措置
レジャーステージ（非常事態）2移行
府民への不要不急の外出自粛要請
大阪府全域の飲食店及び遊興施設の時短要請

2月23日
緊急事態宣言解除要請

3月1日～緊急事態宣言解除
イエローステージ移行
黄信号点灯（医療非常事態宣言解除）
4人以下でのマスク会食の徹底
歓送迎会・謝恩会・宴会に伴う花見の自粛要請
大阪市全域の飲食店及び遊興施設の時短要請
府民への不要不急の外出自粛要請（21日）
首都圏への往来自粛要請（22日）等

3月31日 まん延防止等重点措置要請
大阪府全域の飲食店及び遊興施設の時短要請

4月1日～
4月5日～まん延防止等重点措置適用
重点措置を講じるべき区域（大阪市）
時短要請20時

4月7日 赤信号点灯（医療非常事態宣言）
4月8日 府域における不要不急の外出移動自粛要請
4月9日 週末の外出移動自粛要請
4月14日 大学のオンライン授業実施や学校での部活動休止、テレワーク徹底等を要請

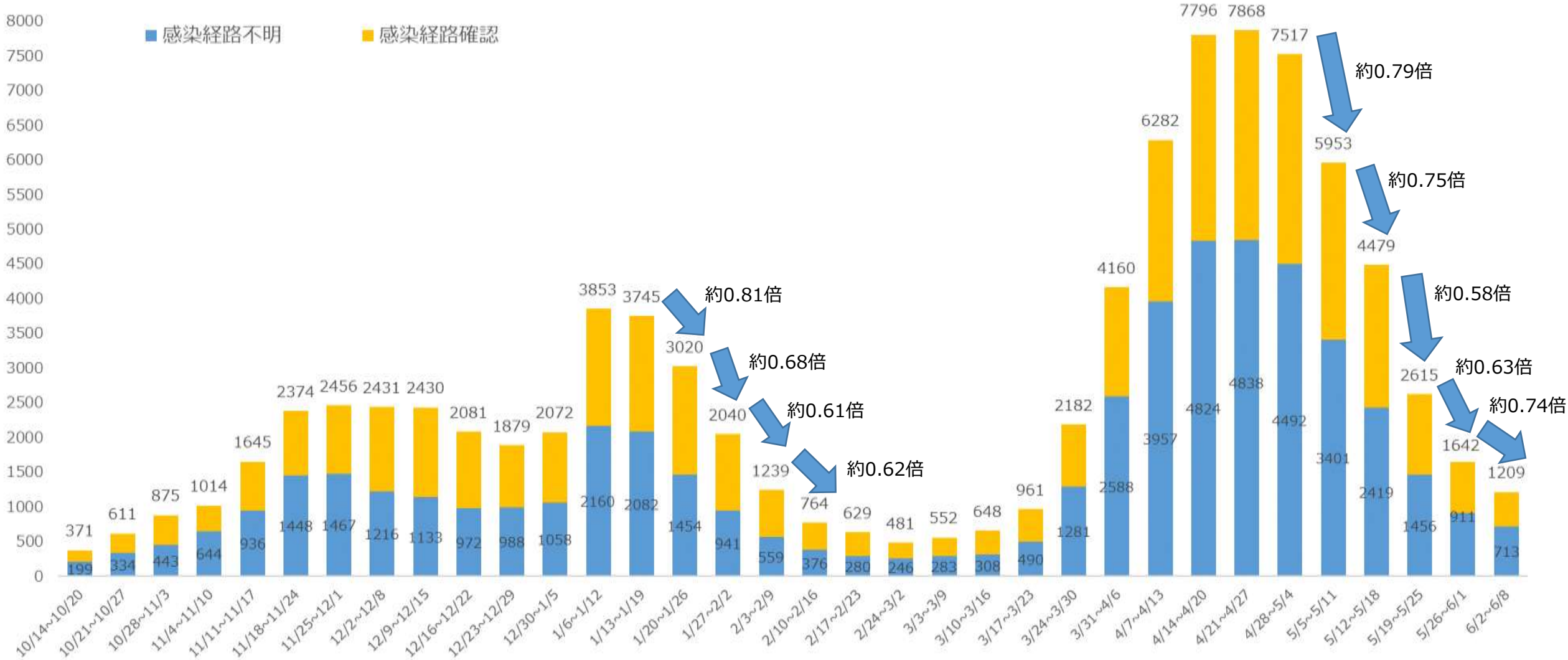
4月20日 緊急事態宣言発出要請
4月23日 緊急事態宣言発出決定
4月25日 緊急事態措置適用（5/11）
不要不急の外出自粛要請、飲食店・一部施設への休業要請等

5月6日 緊急事態宣言延長要請
5月7日 緊急事態宣言延長決定（5/12～5/31）

5月26日 緊急事態宣言延長要請
5月28日 緊急事態宣言延長決定（6/1～6/20）

7日間毎の新規陽性者数

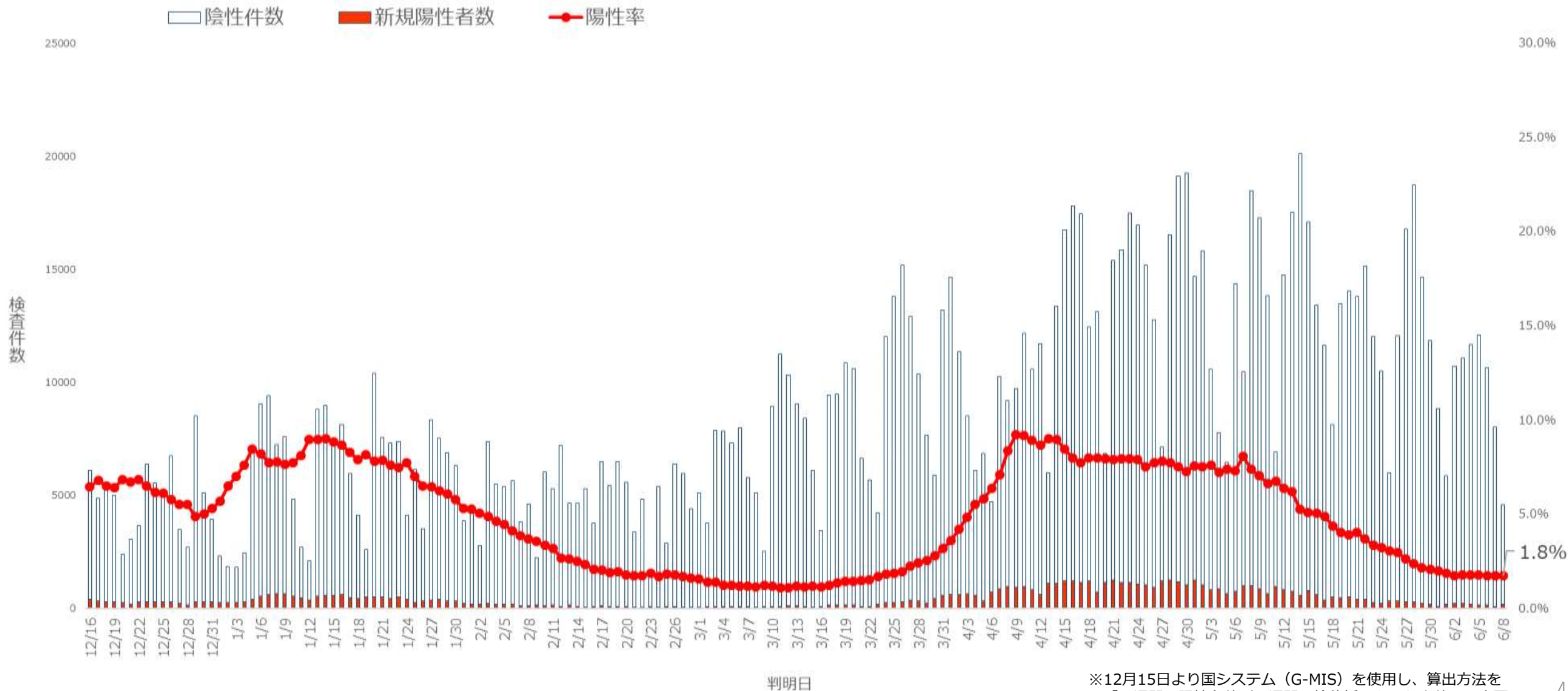
直近1ヶ月半は連続して減少が続いているが、一日平均約170名の新規陽性者が発生。減少速度は鈍化の傾向。



検査件数と陽性率

4月9日・10日をピークに陽性率は低下。

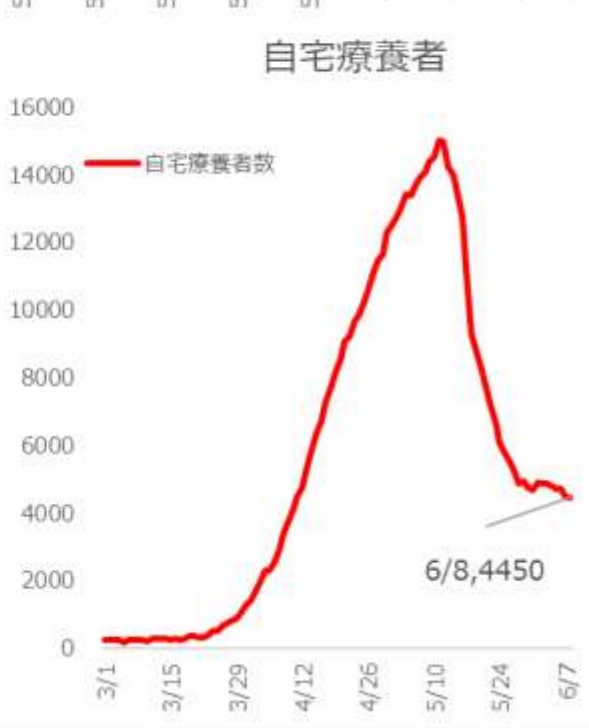
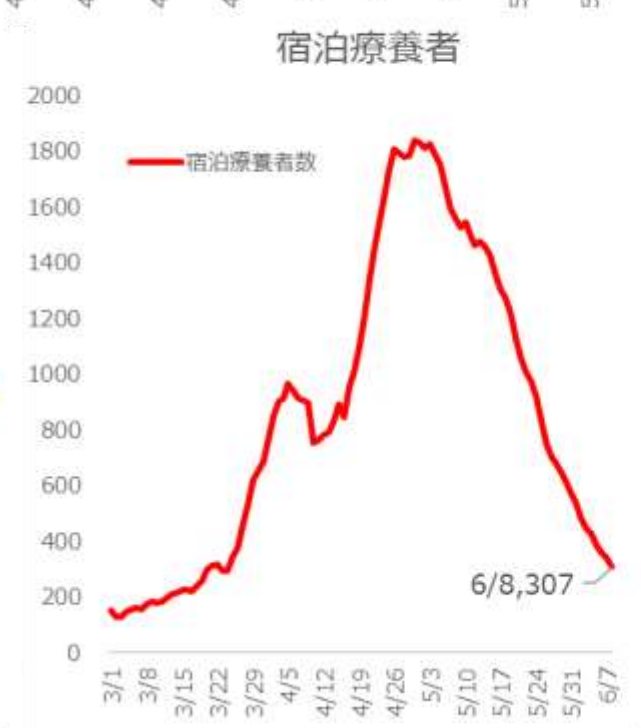
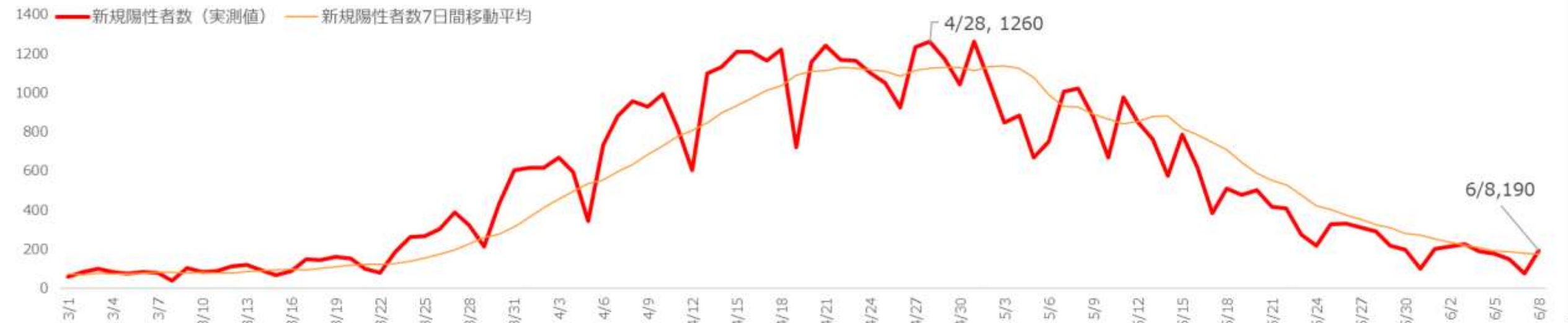
(人分)



※12月15日より国システム (G-MIS) を使用し、算出方法を「1週間の陽性者数 / 1週間の検体採取をした人数」に変更

2 入院・療養状況

新規陽性者数と入院・療養者数（6月8日時点）



入院・療養状況（6月8日時点）

		重症病床	軽症中等症病床	宿泊療養施設
確保計画	フェーズ1	75床	700床	800室
	フェーズ2	110床	1,000床	1,600室
	フェーズ3	150床	1,200床	2,400室
	フェーズ4	180床	1,500床	—
	フェーズ4-2	221床	1,800床	—
確保数等		確保数357床※ ※病床確保計画の確保病床数（224床）を上回って確保した病床数を含む。	確保数2,335床	3,986室
入院・療養者数 （別途、自宅療養 4,450人）		186人※ ※上記の他、対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において、治療継続をしている者 3人 （計 重症者数 189人）	881人※ ※左記3人を含む	307人
使用率		52.1% （入院者数186/確保数等357） 大阪モデルに基づく使用率は、83.0% （入院者数186/確保病床数224）	37.7% （881/2,335）	7.7% （307/3,986）
運用率		52.1% ※1 （入院者数186/運用数357） うち、大阪コロナ重症センター（17/28） （参考）52.9% 運用病床に占める重症者数割合 （重症者数189/運用数357）	37.9% （881/2,326）	7.7% （307/3,986）

※1 運用率における入院者数には、対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において治療継続をしている重症者を除く。

新型コロナウイルス感染症患者受入病床の確保・運用状況

● 重症病床運用状況(令和2年12月4日以降)

6月8日現在 **病床運用率52.1%**

運用病床数 **357床**※1 入院患者数 **186人**※2

※1 病床確保計画の確保病床数(224床)を上回って確保した病床数を含む。

※2 上記の他、対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において、治療継続をしている重症者数3人(計 重症者数189人)

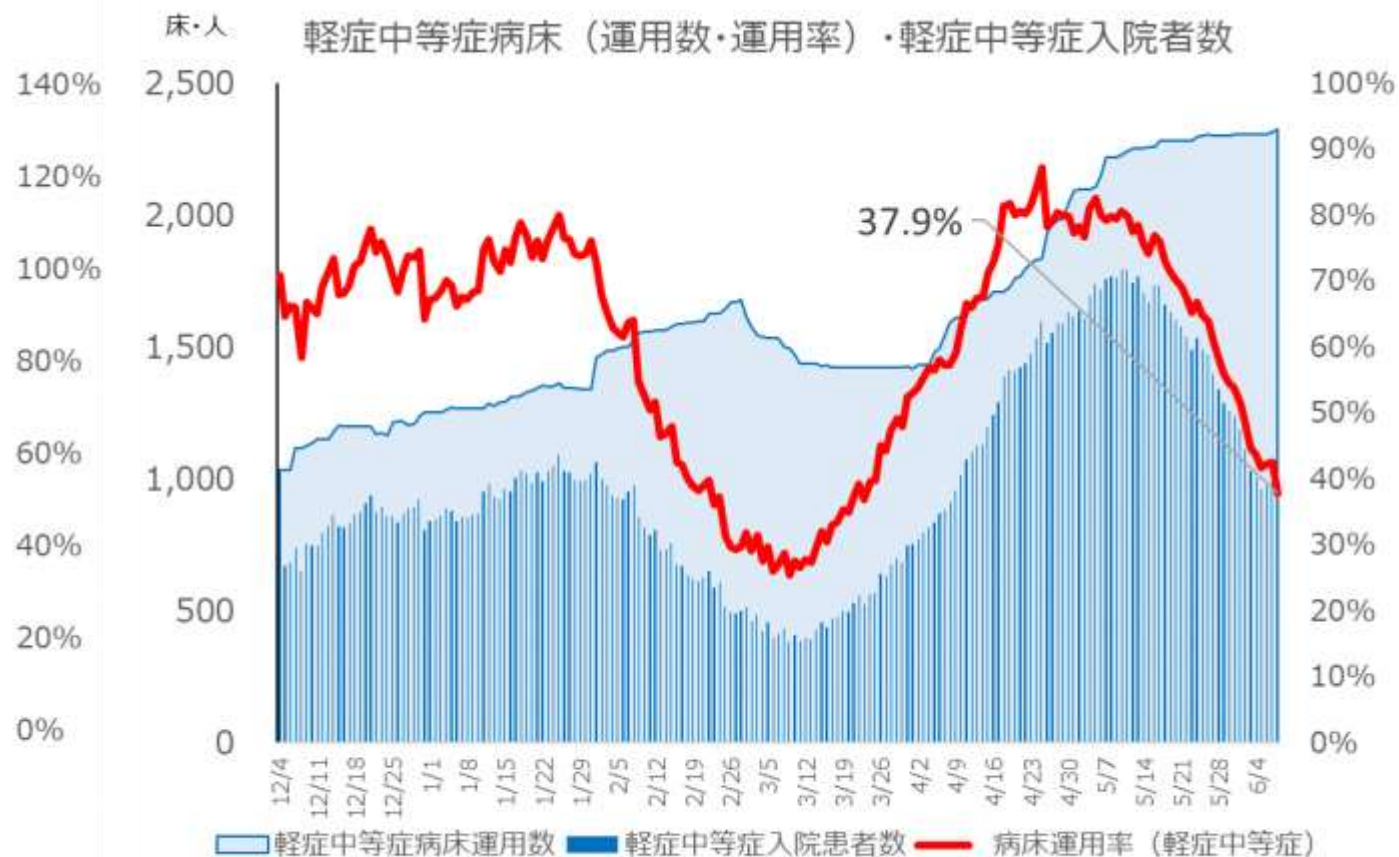
● 軽症中等症病床運用状況(令和2年12月4日以降)

6月8日現在 **病床運用率37.9%**

運用病床数 **2,326床** 入院患者数 **881人**※

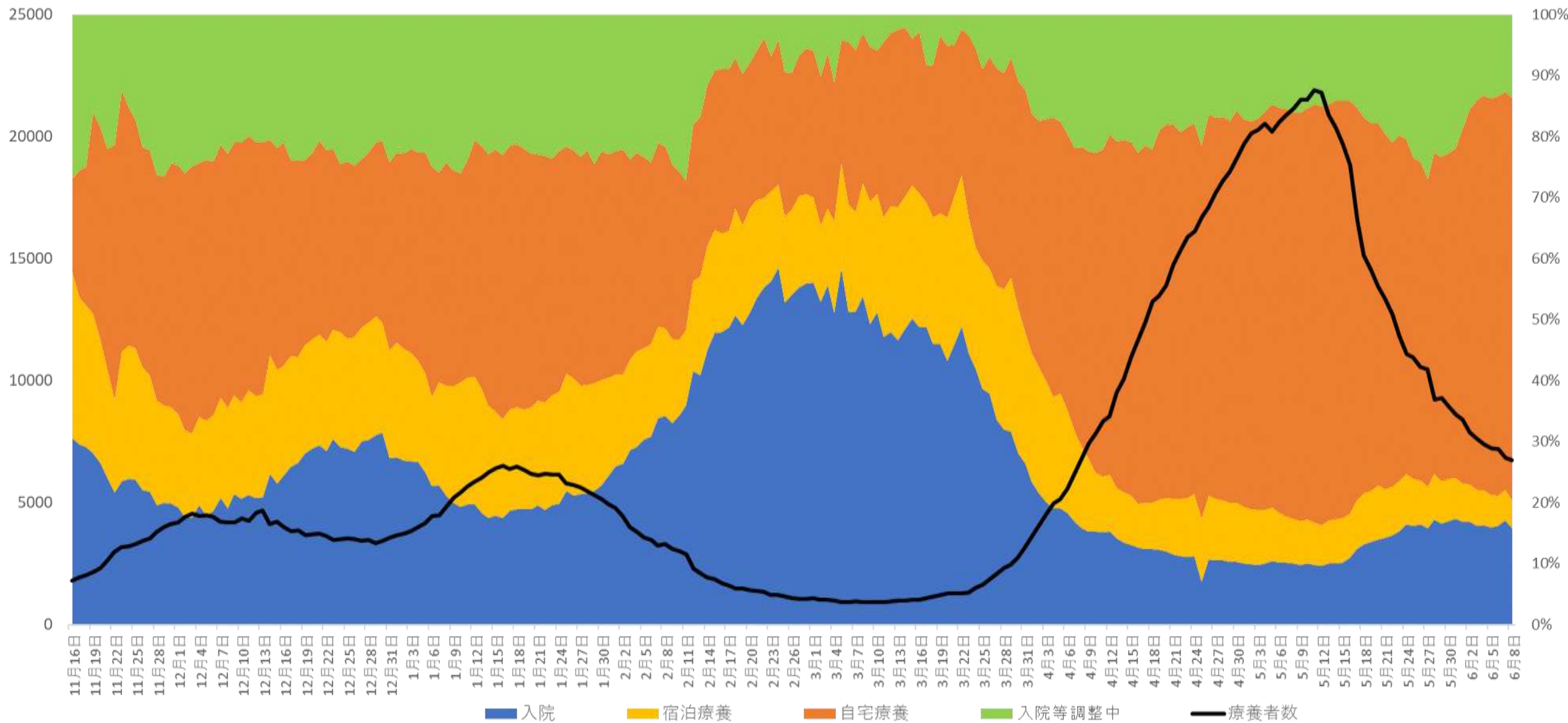
(※左記3人を含む)

・**小児・精神患者用病床等約80床を除いた運用率 約39%**



入院・療養状況（6月8日時点）

入院率は、5月12日以降増加傾向（6月8日時点 15.8%）。

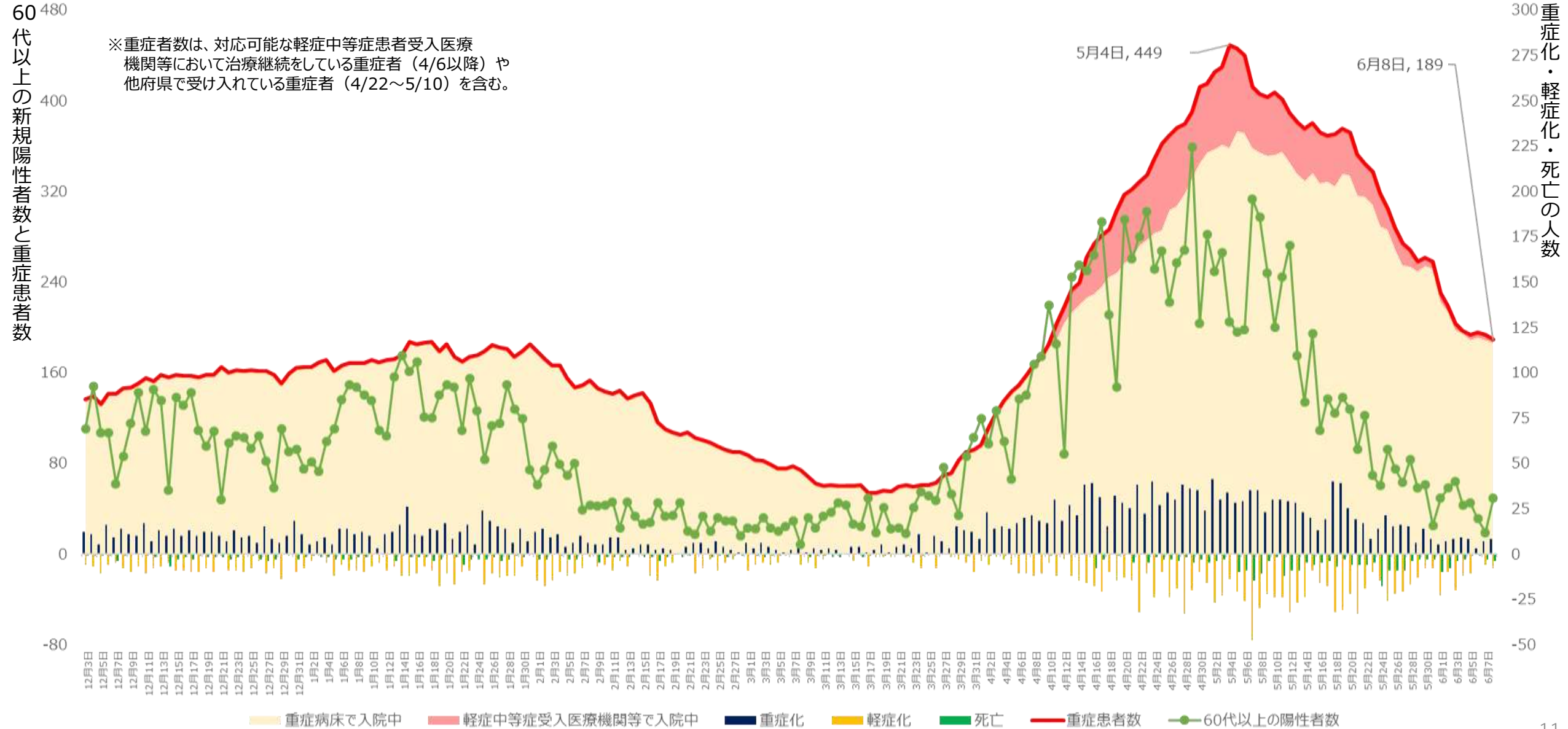


3 重症者数の推移と年代別内訳

60代以上の新規陽性者数と重症者数の推移

60代以上の新規陽性者数と重症患者数の推移（報道提供日ベース）

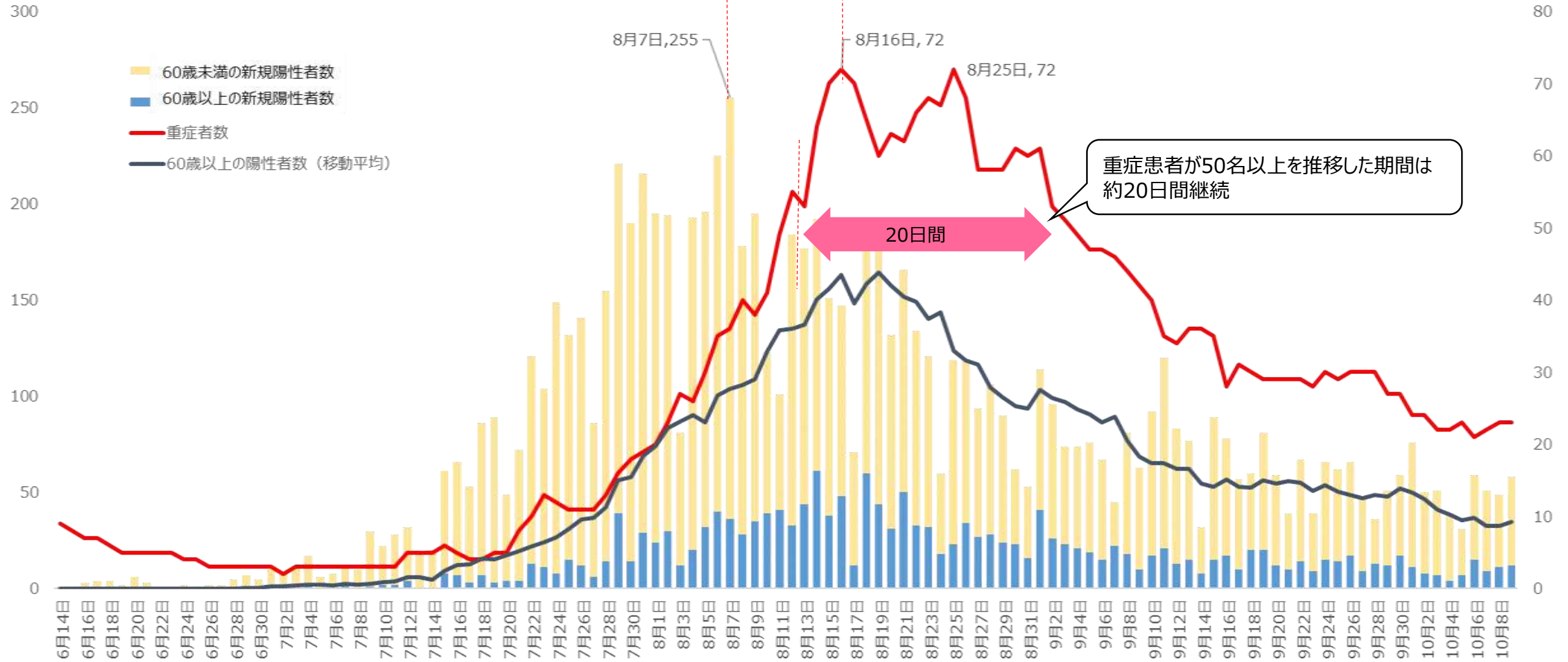
※重症者数は、対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において治療継続をしている重症者（4/6以降）や他府県で受け入れている重症者（4/22～5/10）を含む。



【第二波】陽性者の年齢区分と重症者数の推移

陽性者数

重症者数

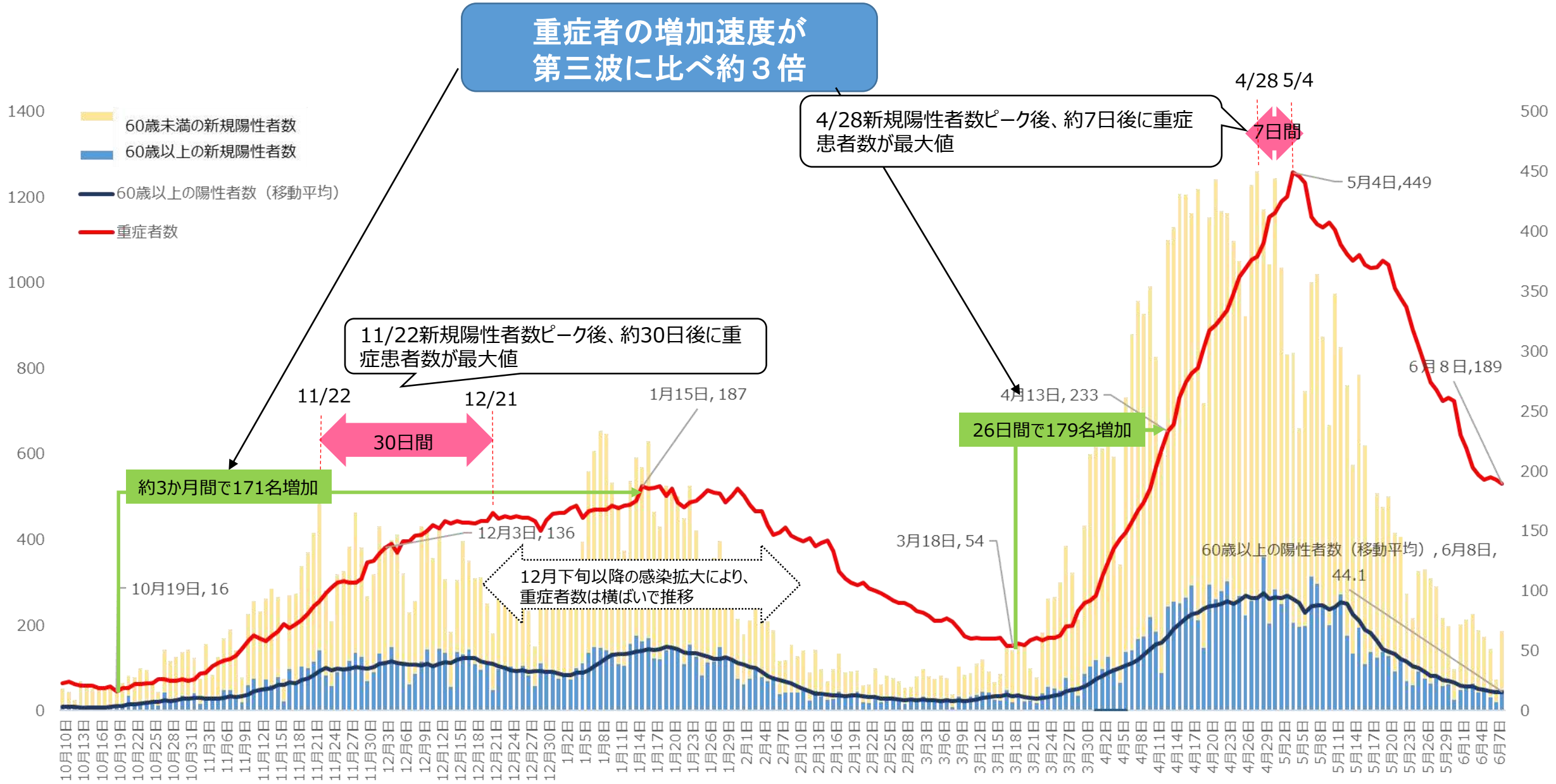


【第三波・第四波】重症者数と60歳以上の陽性者数の推移

※重症者数は、対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において治療継続をしている重症者（4/6以降）や他府県で受け入れている重症者（4/22～5/10）を含む。

陽性者数

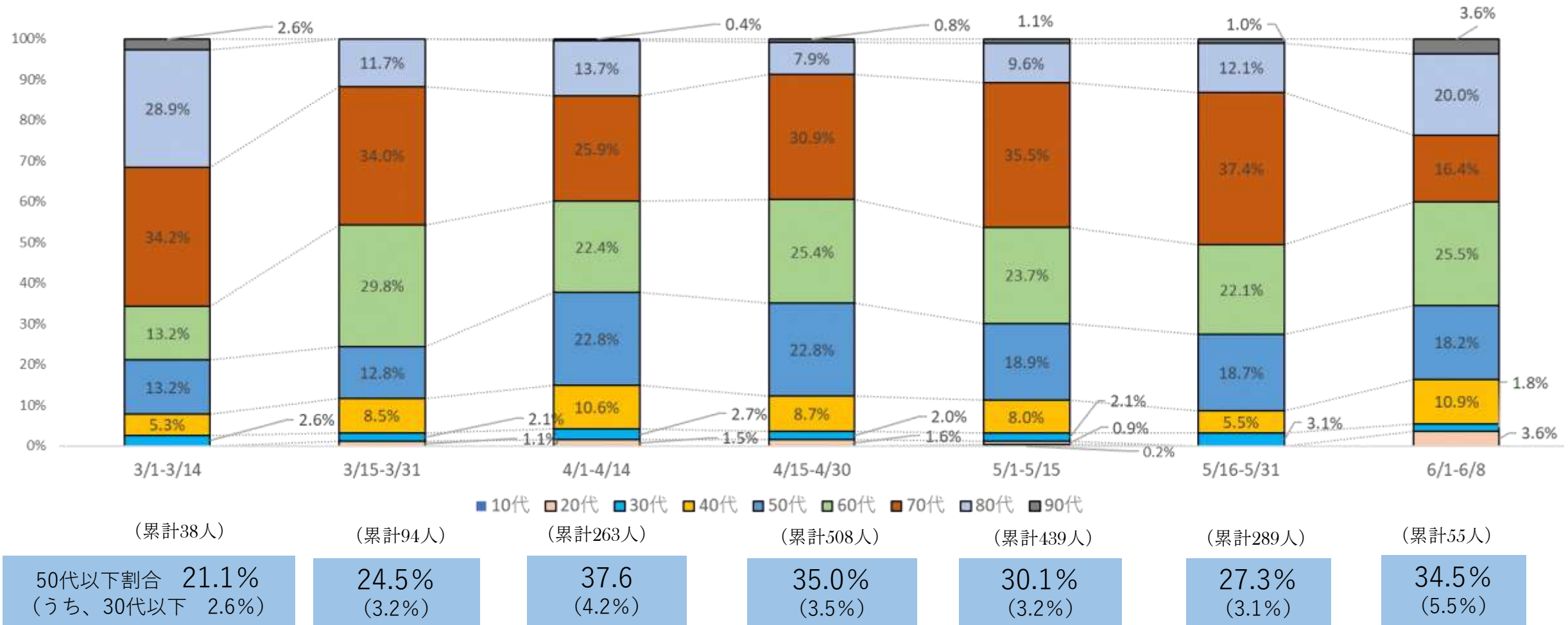
重症者数



年代別新規重症者の内訳（公表日別）

第四波では、4月以降、新規重症者数に占める50代以下の割合が増加。

※100代の新規重症者は0名

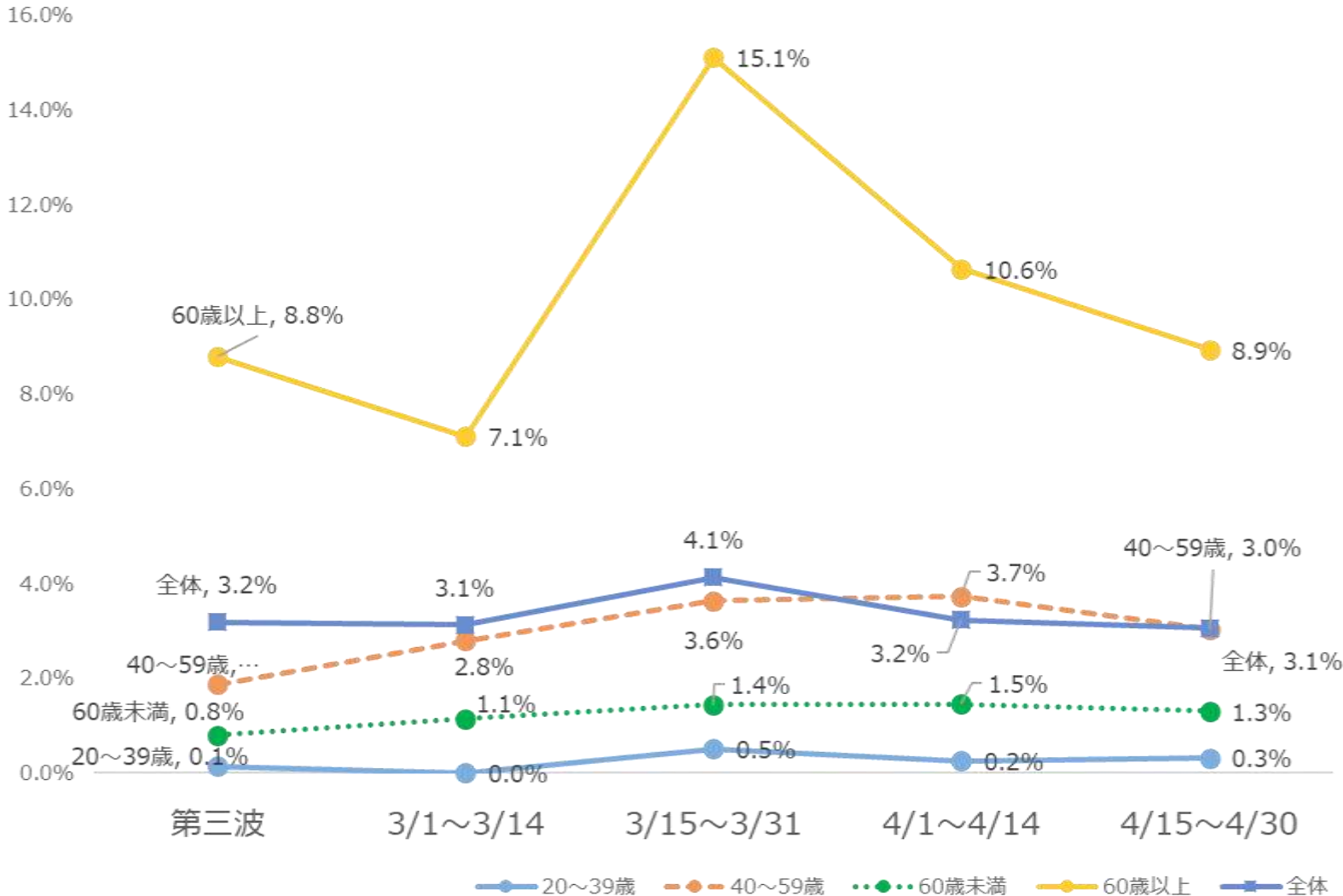


年代別重症率の推移（令和3年6月7日時点）

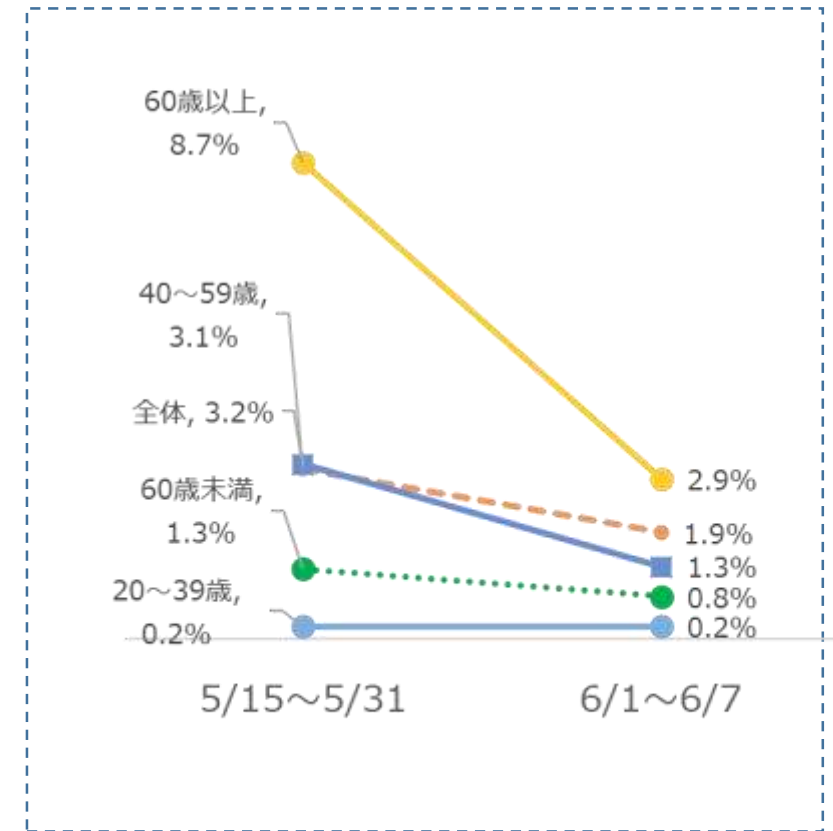
※重症者数は、対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において治療継続をしている重症者（4/6以降）や他府県で受け入れている重症者（4/22～5/10）を含む。

第三波と比べ、各年代の重症化率は高い傾向。

年代別重症率の推移



※陽性判明から重症化まで約1週間程度要することから、今後、重症者数が増加する期間



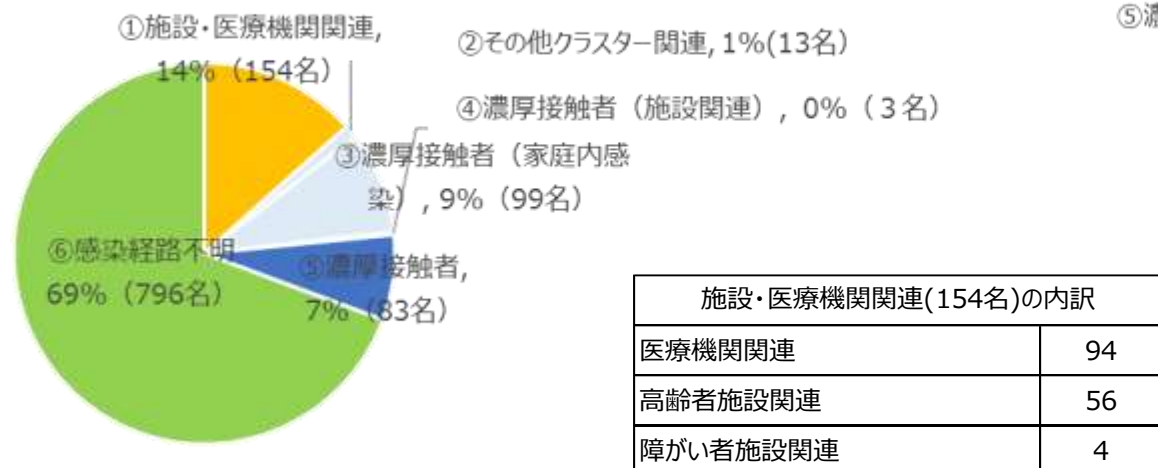
4 重症・死亡例のまとめ

【第三波】重症・死亡例について推定される感染経路（令和3年6月7日時点）

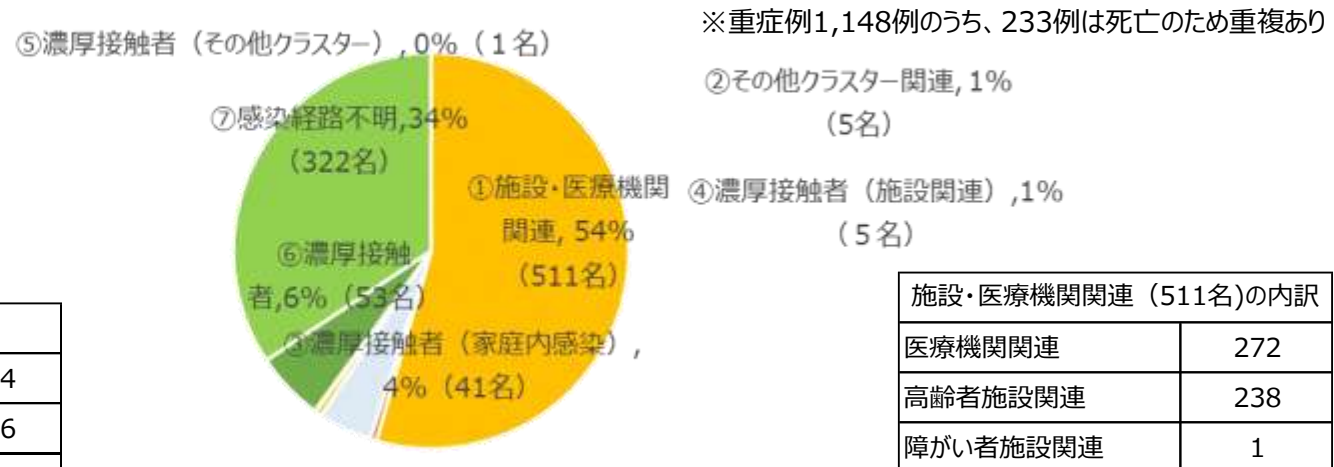
死亡率：新規陽性者に占める死亡者の割合

第三波の重症例1,148名について、推定される感染経路の7割は感染経路不明者。
死亡例938名について、推定される感染経路の5割強が施設・医療機関関連で、3割強が感染経路不明者。

重症例（N=1,148）について推定される感染経路



死亡例（N=938）について推定される感染経路



年代	重症例 総数	感染経路内訳						陽性者 総数	重症化率
		施設・ 医療機関関連	その他 クラスター関連	濃厚接触者 (家庭内感染)	濃厚接触者 (施設関連)	濃厚 接触者	感染 経路不明		
未就学児	1			1				689	0.15%
20代	2	1					1	7,079	0.03%
30代	14		1	1			12	4,654	0.30%
40代	42	2		1		3	36	4,851	0.87%
50代	142	7	3	6		11	115	4,994	2.84%
60代	246	20		24		17	185	3,393	7.25%
70代	451	57	7	49	3	32	303	3,658	12.33%
80代	224	48	2	16		18	140	2,797	8.01%
90代	26	19		1		2	4	899	2.89%
計	1,148	154	13	99	3	83	796	33,014	-

年代	死亡例 総数	感染経路内訳							陽性者 総数	死亡率
		施設・ 医療機関関連	その他 クラスター関連	濃厚接触者 (家庭内感染)	濃厚接触者 (施設関連)	濃厚接触者 (その他クラスター)	濃厚 接触者	感染 経路不明		
30代	1							1	4,654	0.02%
40代	3						1	2	4,851	0.06%
50代	14	5					2	7	4,994	0.28%
60代	55	16	1	3	1		3	31	3,393	1.62%
70代	239	106	2	14			10	107	3,658	6.53%
80代	414	225	2	19	2	1	23	142	2,797	14.80%
90代	202	150		5	2		13	32	899	22.47%
100代	10	9					1		36	27.78%
計	938	511	5	41	5	1	53	322	25,282	-

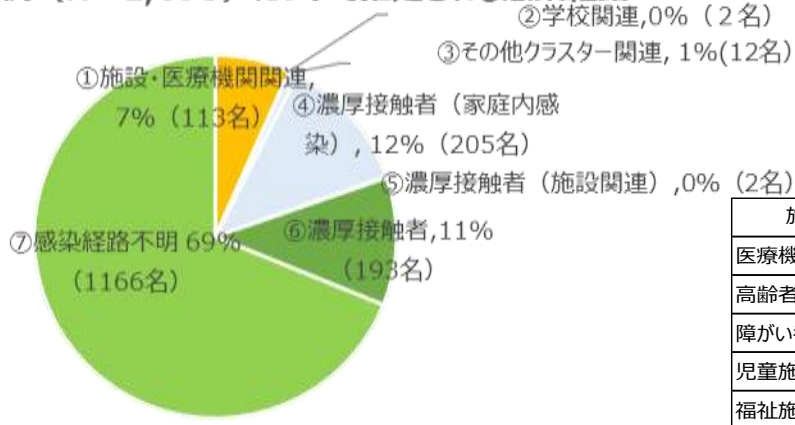
【第四波】重症・死亡例について推定される感染経路（令和3年6月7日時点）

死亡率：新規陽性者に占める死亡者の割合

第四波の重症例1,693名について、推定される感染経路の7割は感染経路不明者で第三波と同じ傾向。施設・医療機関関連の割合は第三波に比べ、減少。

死亡例1,265名について、推定される感染経路の3割強が施設・医療機関関連で、第三波の5割強より減少。感染経路不明者は5割であり、第三波の3割より増加。

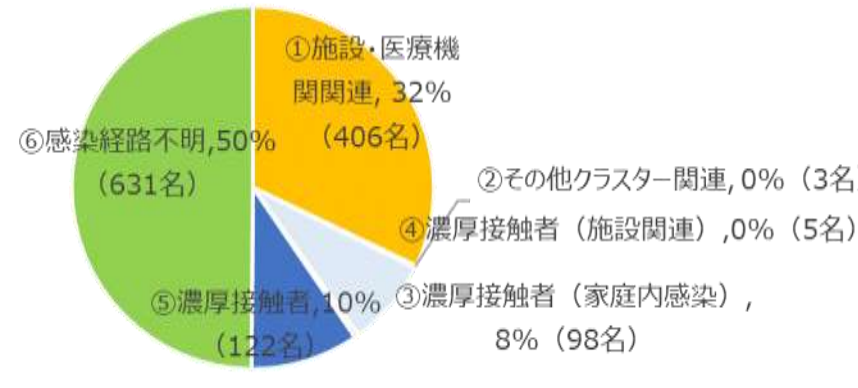
重症例（N=1,693）について推定される感染経路



医療機関関連	70
高齢者施設関連	35
障がい者施設関連	5
児童施設関連	2
福祉施設関連	1

死亡例（N=1,265）について推定される感染経路

※重症例1,693例のうち、313例は死亡のため重複あり



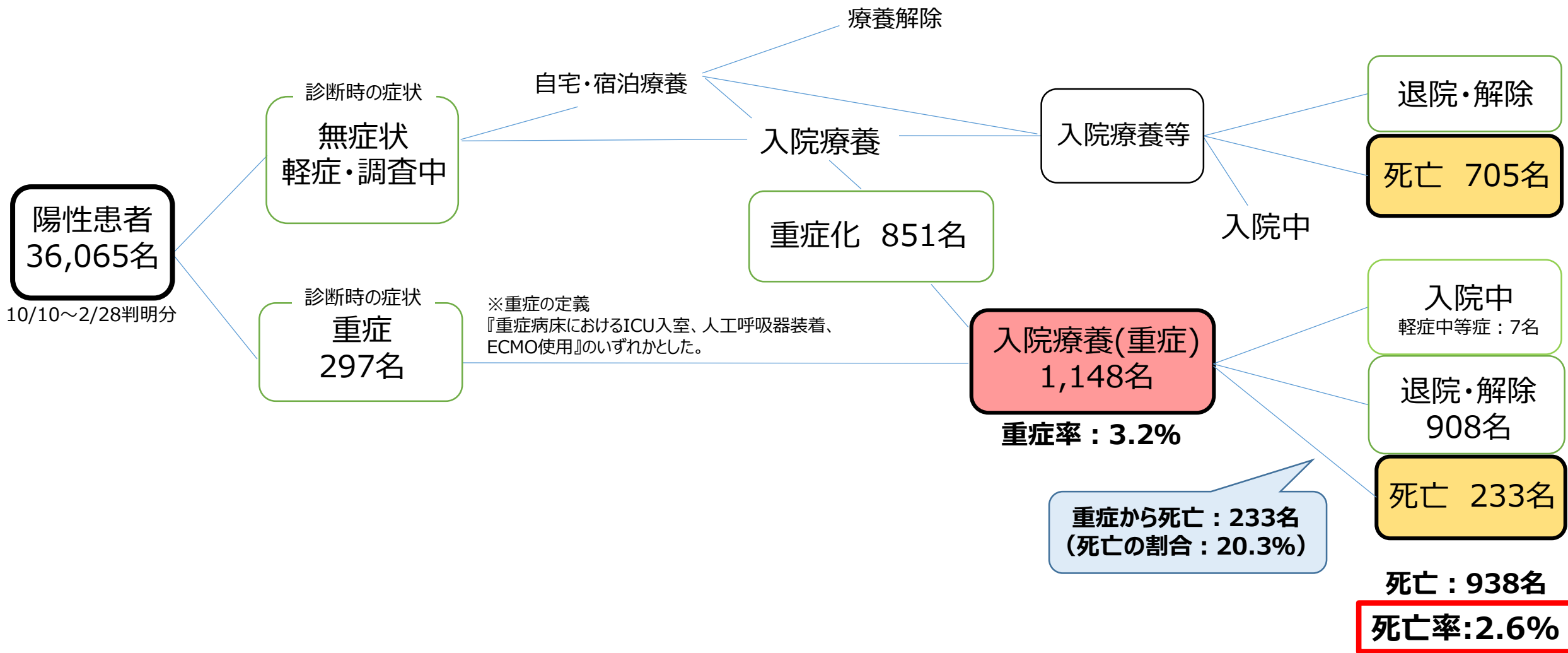
医療機関関連	187
高齢者施設関連	211
障がい者施設関連	5
児童施設関連	1
福祉施設関連	2

年代	重症例総数	感染経路内訳							陽性者総数	重症化率
		施設・医療機関関連	学校関連	その他クラスター関連	濃厚接触者(家庭内感染)	濃厚接触者(施設関連)	濃厚接触者	感染経路不明		
10代	1	1							4,518	0.02%
20代	20	1			2		3	14	11,757	0.17%
30代	39				5		5	29	7,436	0.52%
40代	142	1		4	6		14	117	7,962	1.78%
50代	337	13	1	4	39		37	243	7,407	4.55%
60代	402	23	1	2	48		48	280	4,464	9.01%
70代	550	38		2	80	1	65	364	4,257	12.92%
80代	187	32			24	1	19	111	2,937	6.37%
90代	15	4			1		2	8	903	1.66%
計	1,693	113	2	12	205	2	193	1,166	51,641	-

年代	死亡例総数	感染経路内訳							陽性者総数	死亡率
		施設・医療機関関連	その他クラスター関連	濃厚接触者(家庭内感染)	濃厚接触者(施設関連)	濃厚接触者	感染経路不明			
30代	6				1		1	4	7,436	0.08%
40代	17	1			1		1	14	7,962	0.21%
50代	56	4			3		3	46	7,407	0.76%
60代	111	27			12		4	68	4,464	2.49%
70代	361	77	1		37	1	37	208	4,257	8.48%
80代	487	179	2		35	4	52	215	2,937	16.58%
90代	218	114			9		22	73	903	24.14%
100代	9	4					2	3	44	20.45%
計	1265	406	3		98	5	122	631	35,410	-

※死亡率：新規陽性者に占める死亡者の割合

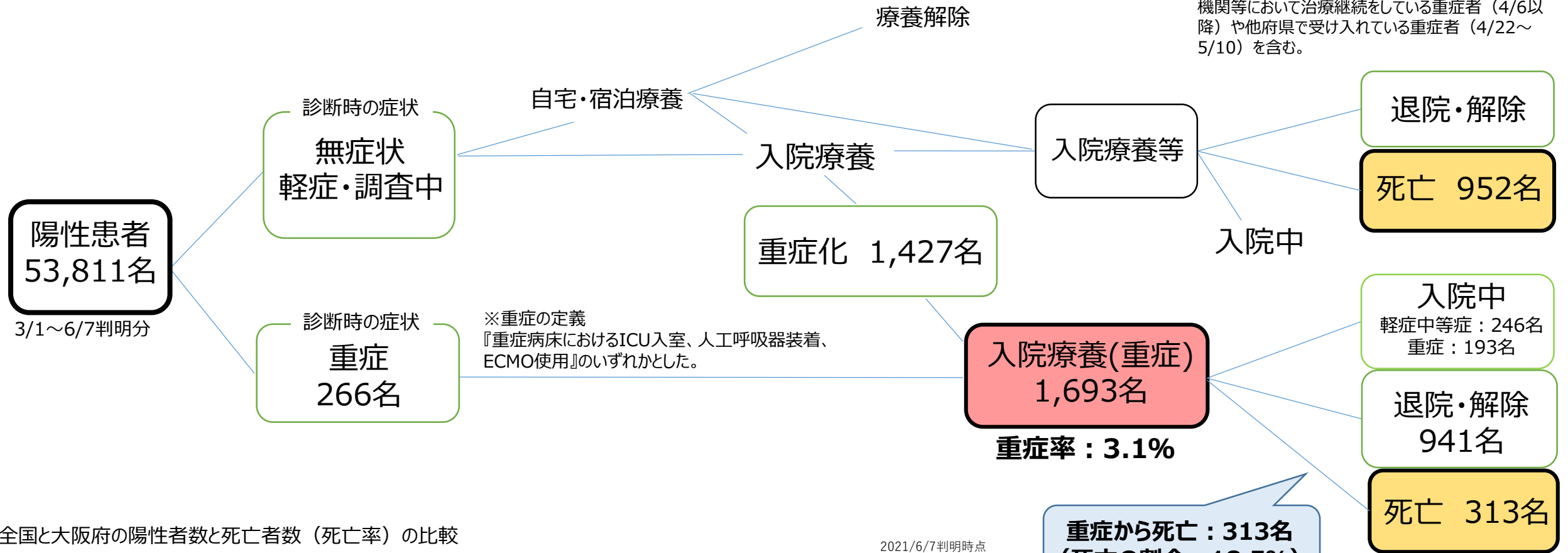
重症及び死亡例の経過



【第四波】重症及び死亡事例のまとめ（令和3年6月7日時点）

重症及び死亡例の経過

※死亡率：新規陽性者に占める死亡者の割合
 ※重症者数は、対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において治療継続をしている重症者（4/6以降）や他府県で受け入れている重症者（4/22～5/10）を含む。



全国と大阪府の陽性者数と死亡者数（死亡率）の比較

2021/6/7判明時点

	累計陽性者数	死亡者数 (死亡率)			
		2020/6/13 まで	6/14～10/9	10/10～2/28	3/1～6/7
大阪府	100,933	1,786 (2.4%)	9,271 (4.9%)	36,065 (1.5%)	53,811 (2.6%)
全国	759,398	17,179 (5.4%)	70,012 (1.0%)	343,342 (1.8%)	328,865 (1.7%)

※チャーター機帰国者、クルーズ船乗客、空港検疫は含まれていない

※全国は厚生労働省公表資料（6/7の国内の発生状況）より集計。

※死亡率は6月7日時点までの死亡者数に基づく。今後、死亡者数・新規陽性者数の推移により変動

重症者のまとめ（令和3年6月7日時点）

※重症者数は、対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において治療継続をしている重症者（4/6以降）や他府県で受け入れている重症者（4/22～5/10）を含む。

第三波と比べ、重症者数に占める50代以下の割合が31.8%（第三波 17.5%）と大きい。

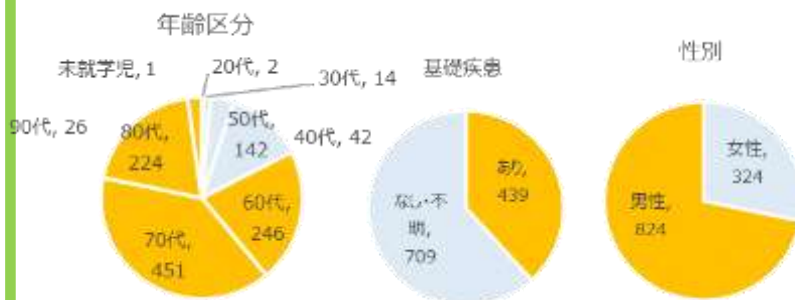
第三波（10/10～2/28）

新規陽性者数	36,065
(再掲)40代以上(割合)	20,628(57.2%)
(再掲)60代以上(割合)	10,783(29.9%)
重症者数（※）	1,148
死亡	233
転退院・解除	908
帰入院中（軽症）	7
帰入院中（重症）	0

※軽症化後の情報把握のため報道提供していない事例が4例あり

■重症者の割合

- ①40代以上の陽性者に占める重症者の割合：5.5% (1,131/20,628)
- ②60代以上の陽性者に占める重症者の割合：8.8%(947/10,783)
- ③全陽性者数に占める重症者の割合：3.2%(1,148/36,065)



平均年齢：66.1歳、60代以上の割合：82.5%

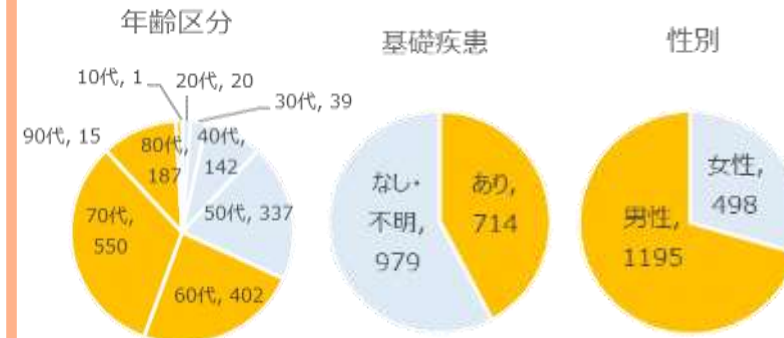
第四波（3/1以降）

新規陽性者数	53,811
(再掲)40代以上(割合)	28,009(52.1%)
(再掲)60代以上(割合)	12,625(23.5%)
重症者数（※）	1,693
死亡	313
転退院・解除	941
帰入院中（軽症）	246
帰入院中（重症）	193

※軽症化後の情報把握のため報道提供していない事例が23例あり

■重症者の割合

- ①40代以上の陽性者に占める重症者の割合：5.8%(1,633/28,009)
- ②60代以上の陽性者に占める重症者の割合：9.1%(1,154/12,625)
- ③全陽性者数に占める重症者の割合：3.1%(1,693/53,811)



平均年齢：60.9歳、60代以上の割合：68.2%

死亡例のまとめ（令和3年6月7日時点）

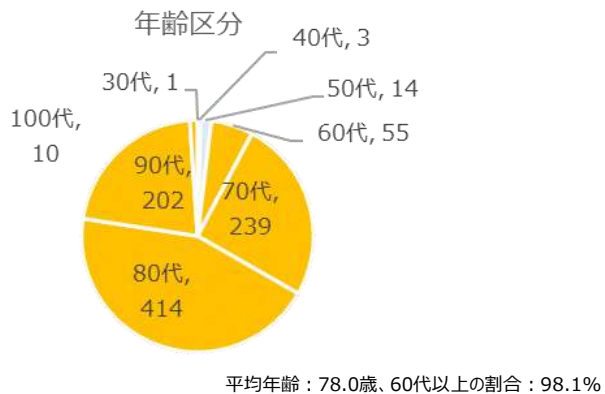
第三波と比べ、死亡者数に占める50代以下の割合が6.2%（第三波 1.9%）と大きい。

第三波（10/10～2/28）

新規陽性者数	36,065
(再掲)40代以上(割合)	20,628(57.2%)
(再掲)60代以上(割合)	10,783(29.9%)
死亡者数	938

■死亡例の割合

- ①40代以上の陽性者に占める死亡例の割合：4.5% (937/20,628)
- ②60代以上の陽性者に占める死亡例の割合：8.5%(920/10,783)
- ③全陽性者数に占める死亡例の割合：2.6%(938/36,065)



基礎疾患

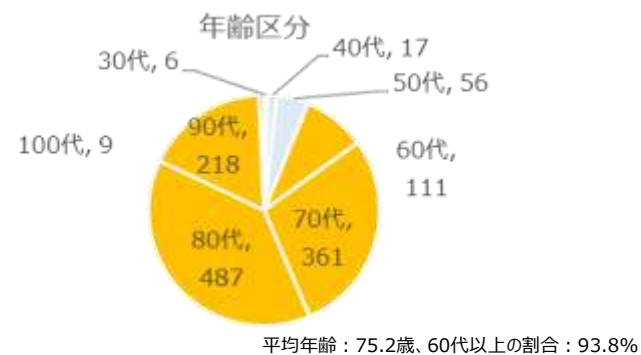


第四波（3/1以降）

新規陽性者数	53,811
(再掲)40代以上(割合)	28,009(52.1%)
(再掲)60代以上(割合)	12,625(23.5%)
死亡者数	1,265

■死亡例の割合

- ①40代以上の陽性者に占める死亡例の割合：4.5%(1,259/28,009)
- ②60代以上の陽性者に占める死亡例の割合：9.4%(1,186/12,625)
- ③全陽性者数に占める死亡例の割合：2.4%(1,265/53,811)



基礎疾患



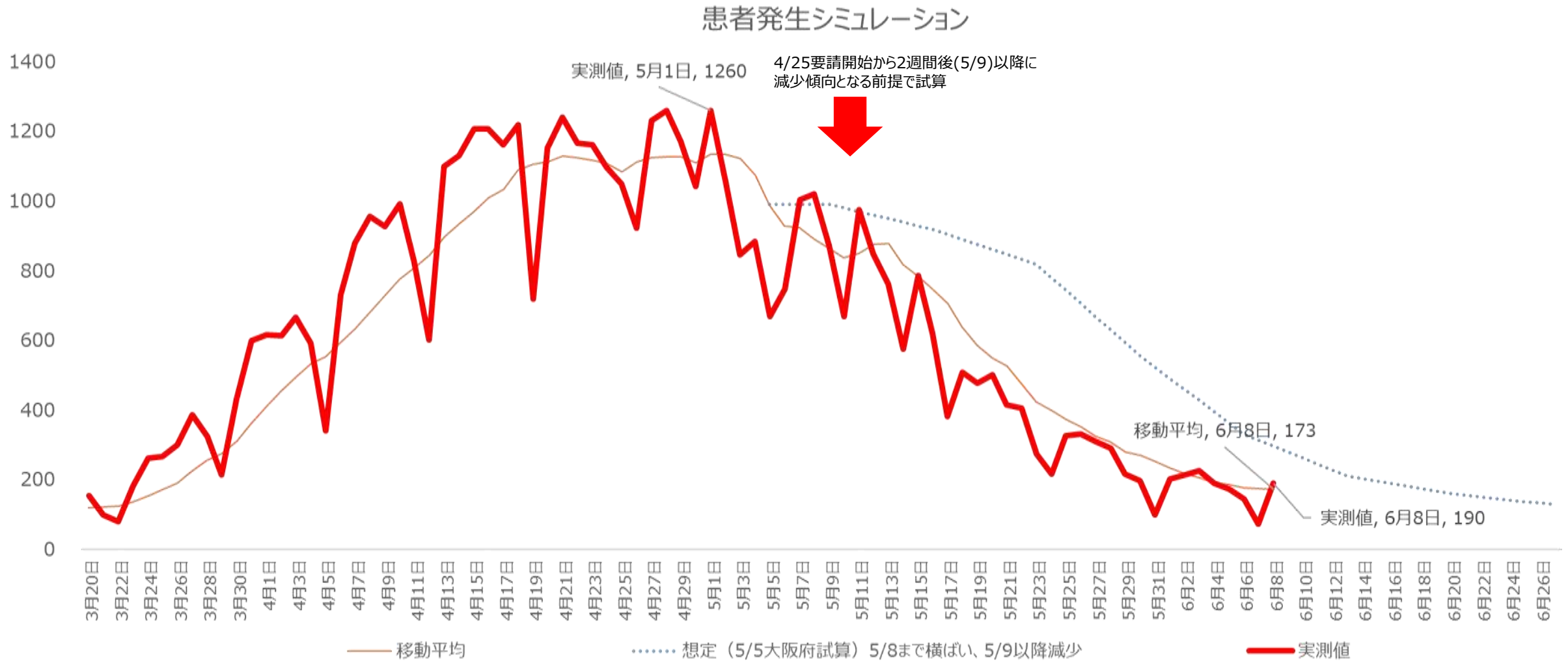
※死亡率は6月7日時点までの死亡者数に基づく。
今後、死亡者数・新規陽性者数の推移により変動

5 患者発生シミュレーション

新規陽性者数の推移と患者発生シミュレーション

■ 第48回対策本部会議資料（資料1-4）のシミュレーション（想定③のみ）に実測値をあてはめ。

想定：5/6から5/8までは990名/日（5/5時点の新規陽性者数の7日間平均値）の横ばいとなり、5/9（4/25緊急事態措置開始後2週間）以降、第三波（1月中旬以降）と同じ前週比で減少する場合。



療養者数のシミュレーション

※重症者数は、対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において治療継続をしている重症者（4/6以降）や他府県で受け入れている重症者（4/22～5/10）を含む。

入院患者数（重症）シミュレーション

■以下の想定でシミュレーションを実施。

5/6から5/8までは990名/日の横ばいとなり、5/9以降第三波（1月中旬以降）と同じ前週比で減少する場合。

【陽性者数の設定の考え方】

■新規陽性者中の60代以上の陽性者の割合を18%（※1）と設定。

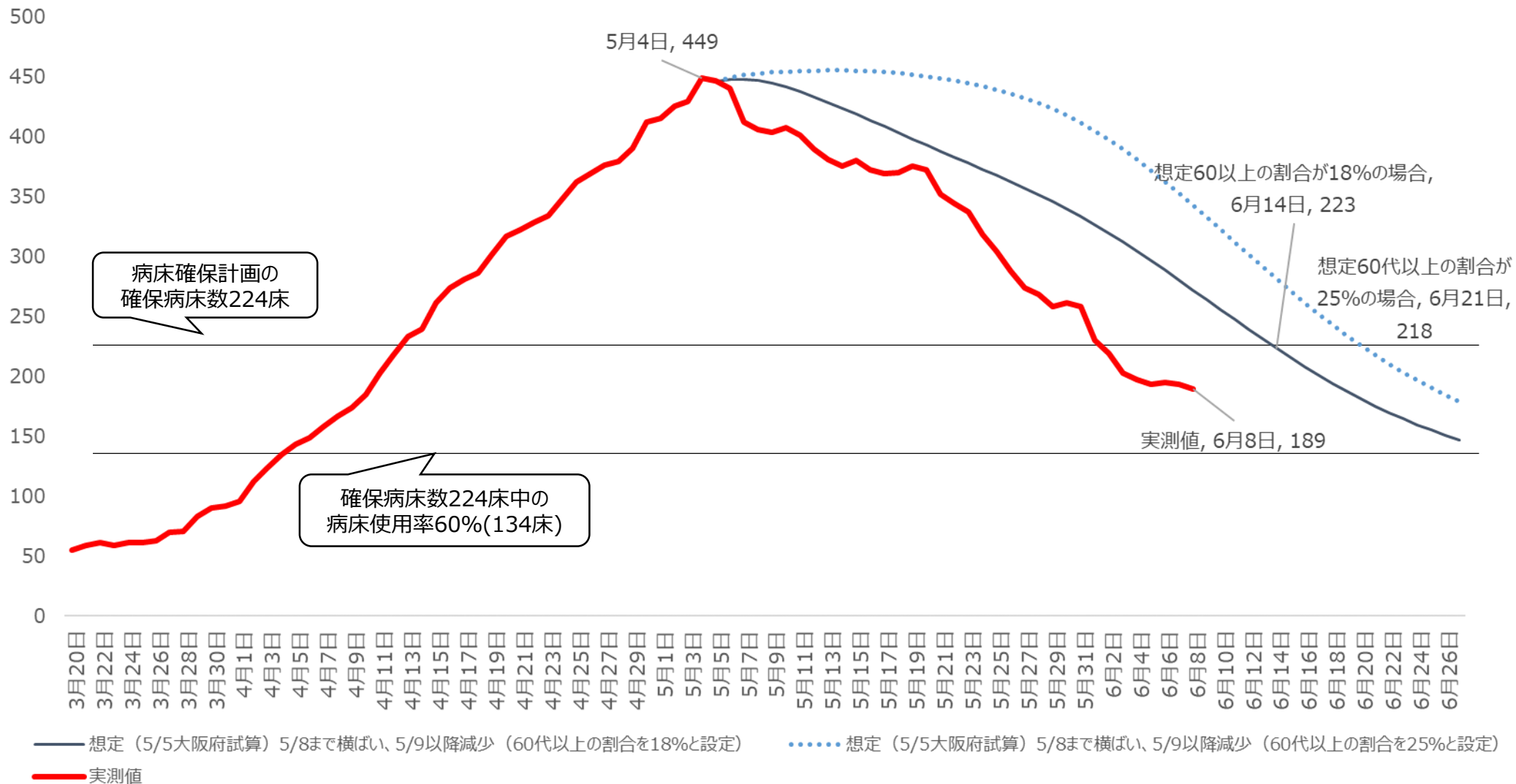
■新規陽性者中の40代・50代の新規陽性者数を28%（※1）と設定。

※1：4月7日時点の新規陽性者中の割合（7日間）

【重症率の設定の考え方】

■60代以上の新規陽性者の重症率は9.0%（※2）と設定。

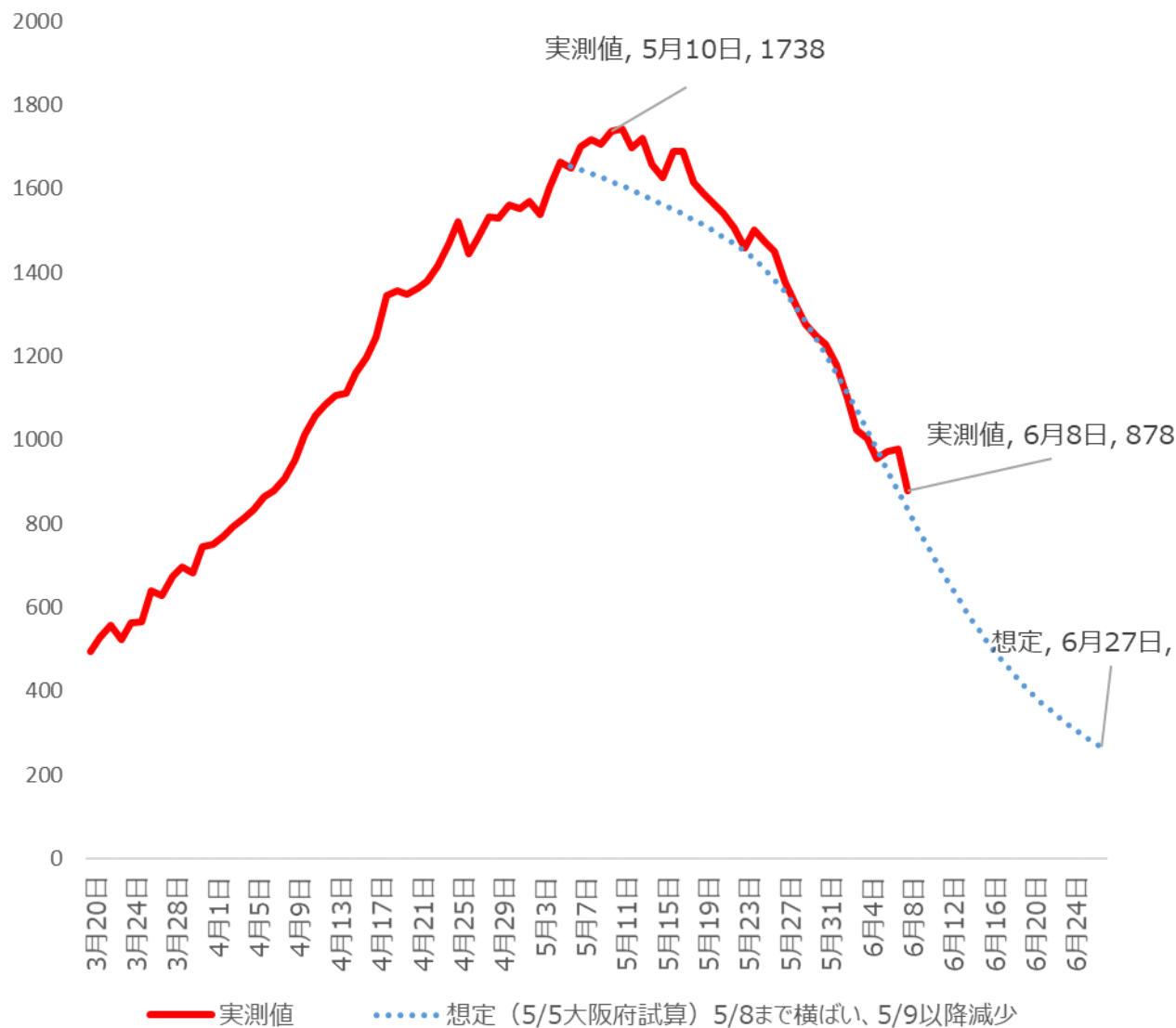
■40代・50代の新規陽性者の重症率は2.1%（※2）と設定。
※2：第四波（3/1～4/5）における重症率



※陽性者数や重症率の設定の考え方は4月5日時点の数値に基づいてシミュレーションを実施しているが、60代以上の割合は直近の数値（5/5時点の新規陽性者中の割合（7日間）25%）に基づきシミュレーションを追加実施。今後、重症率や新規陽性者中の60代以上の割合が増加（第三波では最大で35%程度）すると、重症者数は想定するシミュレーションの値よりも増加する可能性あり。

療養者数のシミュレーション

入院患者数（軽症中等症）シミュレーション



宿泊療養者数シミュレーション

